

中村瑞穂教授主要履歴および業績

I. 主要履歴

1. 学歴

- 昭和31年3月 慶応義塾大学経済学部卒業
昭和33年3月 慶応義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了（経済学修士学位取得）
昭和36年3月 慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程中退
昭和53年3月 商学博士（明治大学）学位取得

2. 職歴

- 昭和38年4月 武蔵大学経済学部助手（以後、専任講師、助教授を歴任）
昭和45年4月 武蔵大学経済学部教授
昭和48年4月 明治大学商学部教授
昭和59年4月 明治大学大学院商学研究科商学専攻主任（～昭和61年3月）
昭和61年10月 明治大学商学部長（～平成2年9月）
平成3年3月 明治大学長期在外研究員兼米国カリフォルニア大学バークリー校客員研究員（～平成5年3月）
平成13年3月 明治大学商学部教授退任。明治大学名誉教授称号取得
平成13年4月 作新学院大学地域発展学部教授兼大学院経営学研究科教授

以上の間、非常勤講師兼務歴任（慶応義塾大学工学部、工学院大学工学部、法政大学経済学部、同経営学部、明治大学経営学部、同商学部、立教大学経済学部、松商学園短期大学、作新学院大学大学院経営学研究科、武蔵大学経済学部、同大学院経済学研究科、日本大学法学部、同大学院商学研究科）

3. 学会等役員

- 昭和41年 日本経営学会幹事（～昭和49年）
昭和55年 日本経営学会理事（～昭和61年）
昭和60年 日本学術会議商学研究連絡委員会委員（～昭和61年）
その間、日本学術会議国際会議派遣代表（西独マンハイムにおける国際経営学会に派遣出席）
平成5年 東アジア経営学会国際連合評議員（～平成12年）
平成8年 経営学史学会理事（～平成14年）

平成10年 Member of the Editorial Board of *Global Focus: An International Journal of Business, Economics and Social Policy*, Published by John Wiley & Sons, Inc., New York, USA. (～平成13年)

平成12年 日本公益学会理事 (～現在)

4. 社会的活動

昭和40年 東京都管理監督者研修講師 (～平成2年)

昭和42年 東京都係長研修 (TST) 改定委員会委員

昭和45年 東京消防庁幹部教養研修講師 (～平成15年)

昭和47年 東京都係長研修 (TST) 第2次改定委員会委員

昭和52年 日本電信電話公社中央利用者委員会委員 (学識経験者) (～昭和54年)

II. 主要業績

1. 著書

『経営の組織と構造』(共著) 青木書店、1963年。

『現代日本経営史』上・下 (共著) 御茶の水書房、1964年・1965年。

『経営学総論』(共著) 世界書院、1965年。

『経営管理論』(共著) 有斐閣、1966年。

『経営学—企業と経営の理論—』(共著) 亜紀書房、1968年。

『三菱コンツェルン—経営と財務の総合分析—』(共著) 新評論、1968年。

『三井コンツェルン—経営と財務の総合分析—』(共著) 新評論、1968年。

『住友コンツェルン—経営と財務の総合分析—』(共著) 新評論、1968年。

『現代日本の産業分析』(共著) 企業法論社、1969年。

『グランド現代百科辞典』(共著) 学研、1970年。

『経営学史』(共著) 亜紀書房、1972年。

『現代日本の株式会社』(共著) 南雲堂深山社、1973年。

『現代経営組織論』(共編著) 日本評論社、1974年。

『経済学の動向』下巻 (共著) 東洋経済新報社、1974年。

『経営管理論序説』(単著) 亜紀書房、1975年。

『新版・経営学—企業と経営の理論—』(共著) 亜紀書房、1976年。

『管理組織論の生成—組織理論の基礎—』(単著) 東京教学社、1976年。

『日本の六大コンツェルン』(共著) 新評論、1979年。

『経済学辞典』(共著) 大月書店、1979年。

『多国籍企業経営論』(共著) 日本評論社、1979年。

- 『転換期における企業経営』（共編著）勤草書房、1984年。
- 『21世紀の日本の株式会社像』（共著）東洋経済新報社、1985年。
- 『現代経営理論』（共著）中央経済社、1985年。
- 『日本経済のゆくえ』（共著）明治大学社会科学研究所、1986年。
- 『現代企業における技術と経営の展開』（共著）森山書店、1987年。
- 『現代の企業経営—理論と実態—』（共編著）ミネルヴァ書房、1989年。
- 『日本語大辞典』（共著）講談社、1989年。
- 『新版・現代の企業経営—理論と実態—』（共編著）ミネルヴァ書房、1994年。
- 『地域社会と総合経営』（共著）郷土出版社、2001年。
- 『経営学史事典』（共著）文眞堂、2002年。
- 『経営学—企業と経営の理論—』（共著）白桃書房、2003年。
- 『企業倫理と企業統治—国際比較—』（編著）文眞堂、2003年。

2. 翻訳書

- D・M・グビンニアニ著『組織と管理』（共訳）ミネルヴァ書房、1974年。
- P・I・ブランバーグ著『巨大株式会社』（監訳）文眞堂、1980年。
- J・スコット著『株式会社と現代社会』（監訳）文眞堂、1983年。
- G・G・シュウォーツ＝W・ニーカーク著『ワーク・レボリューション』（共訳）ホルト・サウンダーズ・ジャパン、1985年。
- N・ヘンリー著『現代行政管理総論』（監訳）文眞堂、1986年。
- E・M・エプスタイン著『企業倫理と経営社会政策過程』（共訳）文眞堂、1996年。
- D・スチュアート『企業倫理』（共訳）白桃書房、2001年。
- T・L・ビーチャム＝N・E・ボウイ編『企業倫理学・第3巻』（監訳）晃洋書房、2003年。

3. 学会発表

- 「科学的管理の評価に係る着干の論点」経営史学会第4回大会、1968年。
- 「公害問題と株式会社制度」日本経営学会第45回大会、1971年。
- 「“日本の経営”論と経営学の方法—“経営”の概念をめぐって—」日本経営学会第52回大会、1978年。
- 「株式会社研究の歴史と現況—概観—」日本経営学会第57回大会、1983年。
- 「企業倫理への経営学的接近」日本経営学会第68回大会、1994年。
- 「アメリカ経営学の110年—社会性認識をめぐって—」経営学史学会第4回大会、1996年。
- 「ビジネス・エシックスと公益」日本公益学会第1回大会、2000年。

以上